

事務事業名	簡易水道配水給水維持管理事業			会計	簡易水道	実施区分	継続		
				事業種別	経常	開始	終了		
H29作成課等名	水道課	H29係等名	維持係	H28担当課等名 水道課					
基本計画上の位置づけ	政策	4	暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり						
	施策	45	居住基盤の向上						
目的	対象(誰・何を)	市営簡易水道事業			対象指標	指標名及び単位		28年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	適正に配水給水施設を維持管理することにより、公衆衛生の向上と生活・事業基盤の向上を図る				簡易水道事業数	1		
	向上させたい上位施策の成果指標	居住基盤の満足度							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度実績	備考(指標変更など)
	成果指標	適正に維持管理された施設数 / 全施設数 × 100%			100	100	100	100	
	定性目標								
事業概要	配水給水施設を適正に維持管理及び改修することにより、水道法に定められた給水水質を満たした安全安心な水道水を安定的に供給する。								
28年度事業内容	事業内容				名称		活動指標		
	1 配水給水施設維持管理				1 配水延長 2 給水栓数		1 49,028m 2 1,287栓		
事業コスト		27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		17,513	11,381	11,021	0	(その他)使用料及び手数料			
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他		7,961	6,437	6,883					
一般財源		9,552	4,944	4,138					
人件費計(千円)②		5,497	5,497	5,497	0				
正規職員所要時間		960	960	960					
臨時職員所要時間		1,920	1,920	1,920					
総事業費①+②		23,010	16,878	16,518	0				
事業内容・目標達成状況の振り返り	適正な維持管理ができ、安全安心な水道水を安定的に供給できた。								
改革改善の考え方	①問題点	水道事業は全般的に専門技術、知識、経験が必要であるが、職員の削減、人事異動、熟練職員の退職等により熟練した職員が少ないため職員の養成が必要である。							
	②改革提案	水道職員の適正な経験年数と適正人員の確保。							